

大塚先生の算数体験ワークショップ



講座概要

敬愛大学では多彩な生涯学習講座を開催していますが、夏休みには小学生向けの講座も開講しています。今回の講座は、ふだんの学校の授業にはない「体験型ワークショップ」を通して、数の性質を学ぶ講座を開催しました。親子で参加できるゲームやパズルを通して様々な数の不思議を体験し、算数が好きになるきっかけや算数の楽しさ・おもしろさを見つける機会を提供しました。

ワークショップは、本学教育学部の大塚慎太郎准教授が指導する「算数教育ゼミ」の大学4年生が担当。『「495」に隠された秘密』『月までとどけ!!! ~紙おりおり大作戦』の2本立てで、受講した児童全員が120分間、楽しみながら熱心に取り組みました。



3桁の数「495」を分解して
謎を解こう!



大学生のお姉さんが
複雑な計算をアシスト



廊下に広げた長い模造紙を
折りたたもう!

「495」に隠された秘密

『「495」や東京スカイツリーの高さ「634」の様な3桁の数を分解して計算をしていくと、謎が解けるんです。どんな謎が隠されているでしょう』と大学生が問いかけると、筆算や電卓で夢中になって謎解きを始めた子どもたち。

「やった、分かった!」と声を上げる様子には、一緒に参加した親御さんも大喜びでした。



月までとどけ!!! ~紙おりおり大作戦

『コピー用紙は何回折りたたむことができるかな』という問いかけに、実際に折ってみたら7回しか折れなかったと落胆する子どもたち。『ならば長い紙ならどうだろう』と廊下に広げられた紙でチャレンジしてみました。なんとこの方法を応用すると、月までの距離を測ることができると知り、子どもたちは大興奮となりました。



成果と課題

2年目となった「大塚先生の算数体験ワークショップ」は、今回も募集開始からすぐに満員御礼となり、関心の高さが伺えました。120分という長丁場にも関わらず、飽きることなく熱心に取り組む子どもたちの姿は、ただただ感心させられました。

1回の受講生を増やすことは難しいですが、保護者からは「他教科で同様の取組ができないか」「夏休み以外に開講することができないか」という声もあり、要検討です。

敬愛大学では、生涯学習講座を年間約150もの講座を設け、年間約1,000人を超える皆様にご受講いただいています。最年少は小学1年生、最年長は98歳です。敬愛大学生涯学習講座は、人生100年時代の「学び直しの場」「いきがいの場」「つどいの場」です。語学を中心に、教養講座、大学生の正課授業の公開、資格取得など様々な分野の講座を提供しています。詳しくは、地域連携センター生涯学習係(☎043-251-6364)にお問い合わせください。

